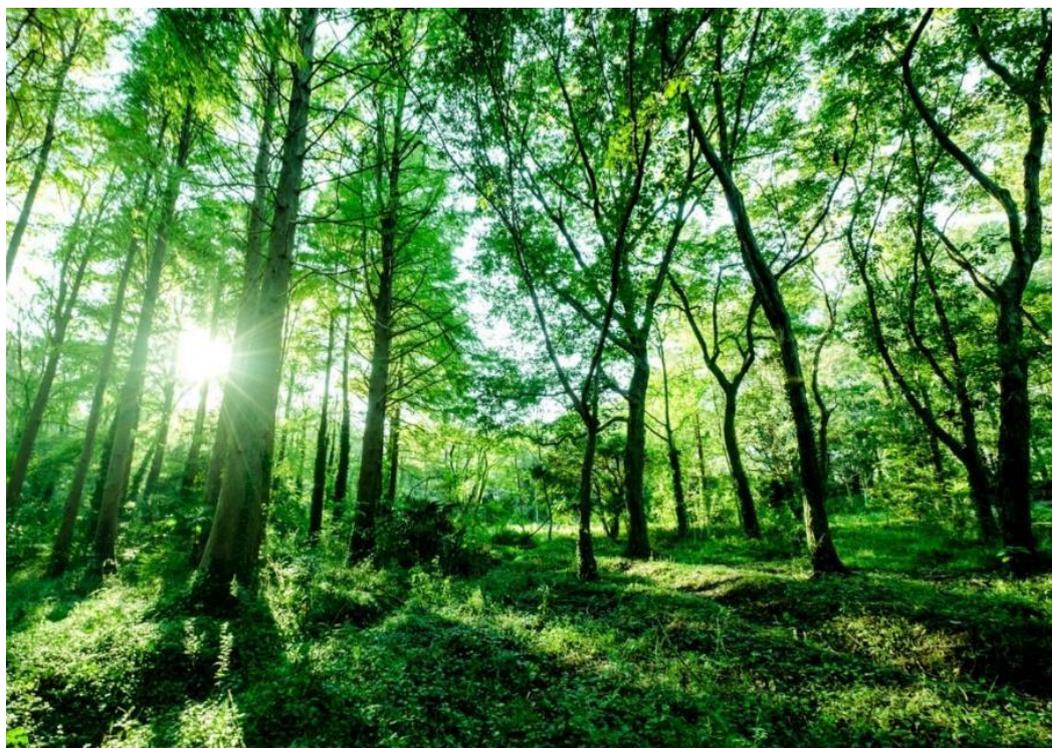


# 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0012521

**名正土建株式会社**

発行日： 2024年6月1日

## \* 目 次 \*

1	取組の対象組織・活動の明確化	・・・1
2	実施体制	・・・2
3	環境経営方針の策定	・・・3
4	環境経営計画の評価及び次年度の計画	・・・4
5	環境経営目標と実績	・・・5
6	次年度の環境経営目標	・・・6
7	環境関連法規等の遵守状況	・・・7
8	環境活動の状況	・・・7
9	代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・8

## 取組の対象組織・活動

### 1. 組織概要

#### (1) 名称及び代表者名

名正土建株式会社  
代表取締役 田村 浩二

#### (2) 所在地

事務所 徳島県阿南市西路見町堤外117番地の2  
倉庫 徳島県阿南市西路見町堤外128番地17

#### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 清田 研二 TEL: 0884-22-0907  
担当者 田村 和江 TEL: 0884-22-0907

#### (4) 事業内容

土木工事業、 とび・土工工事業  
舗装工事業、 水道施設工事業  
解体工事業

#### (5) 事業規模

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高(税込)	百万円	198	120	177	199
従業員	人	10	10	10	10
事務所床面積	m <sup>2</sup>	219.4	219.4	219.4	219.4
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	427	427	427	427

※従業員数においては、4月1日現在とする

#### (6) 事業年度 4月1日～翌年3月31日

### 2. 認証・登録の対象組織及び活動

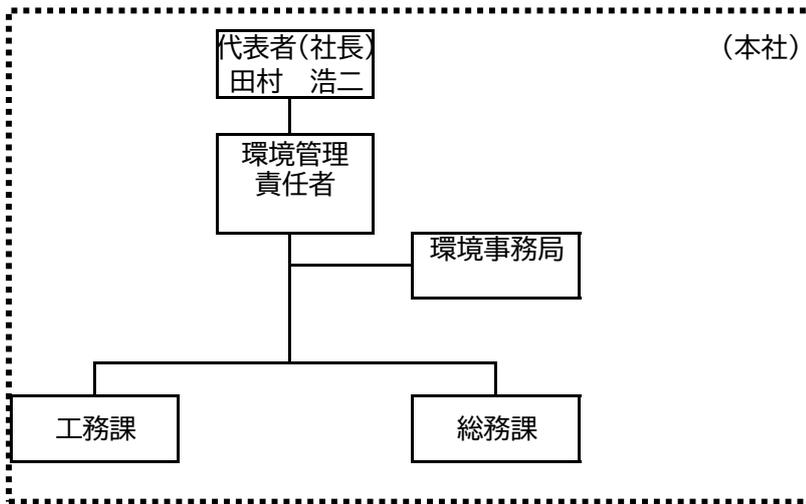
認証・登録事業者名：名正土建株式会社

対象事業所：本社 倉庫

事業活動範囲

(建設業許可)  
徳島県知事許可(特-29)第514号  
土木工事業、 とび・土工工事業  
舗装工事業、 水道施設工事業  
解体工事業

## 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画を承認</li> <li>・環境関連法規・条例の遵守チェックの実施</li> <li>・緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画を確認</li> <li>・緊急事態訓練手順書の確認</li> <li>・環境経営計画の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画原案の作成</li> <li>・環境経営計画の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成（実施チェック）</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・緊急事態訓練記録の作成</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
各課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の報告・実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

# 環境経営方針

## 基本理念

名正土建株式会社は、限りある自然を大切に、次世代への責任転嫁をしないという強い信念をもち、建設事業による環境への影響を考慮しながら、人と自然が共生できる持続可能な社会を構築する為、社員一同、環境負荷の軽減に努力します。

## 行動指針

1. 私たちは、次のことについて重点的に取り組みます。
  - 1) CO2排出量の削減(電力ならびに燃料使用量の削減)
  - 2) 水使用量を削減します。
  - 3) 一般廃棄物ならびに産業廃棄物の削減及びリサイクルの推進
  - 4) 事務用紙使用量の削減
  - 5) 再生資源の積極的利用の推進
  - 6) 環境に関する社会貢献活動に積極的に取り組みます。
  - 7) ICT化による設計・工事の効率的運用

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

2. 私たちは、環境に関連して適用される法令, 及びその他の同意する要求事項を遵守します

この環境経営方針を全ての従業員に周知します。

制定日： 2017年10月27日

改定日： 2020年8月4日

名正土建株式会社

代表取締役 田村 浩二

## 2023年度 環境経営計画書

方針	目 標	目標達成手段	責任者 (担当者)	定期的確認		評 価	次年度の計画
				上半期	下半期		
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減	・空調温度の適正化（冷房27度・暖房21度）	総務	○	○	各空調ごと設定温度をきちんと守れていた。	引き続き取り組む
		・不要照明の消灯	〃	○	○	徹底して行われていた。	〃
		・パソコン、コピーは省電力設定にしておく	〃	○	○	設定されている。	〃
		・ブラインドやカーテンの利用で熱の調整	〃	○	○	こまめに各自行っていた。	〃
		【中期計画】					
		・省エネタイプエアコンへの買い替え	代表者	△	△	半期ごと検討は行った。	引き続き買い替えを検討する。
	化石燃料による二酸化炭素削減	・アイドリングストップの徹底	代表者	○	○	徹底して行われていた。	引き続き取り組む
		・効率的なルートでの移動	工務	○	○	現場ごとに行っていた。	〃
		・乗り合わせ移動	〃	○	○	特に遠方の現場においてよく考えて行われていた。	〃
			【中期計画】				
・車両買い替え時に低燃費車を選択		代表者	△	△	次年度には買い替えたい。	2トンダンプ買い替えを検討したい。	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底	総務	○	○	各自が徹底して行われていた。	引き続き取り組む
		・資料のクラウド管理	〃	○	○	工務課、総務課ごとにクラウド管理ができています	〃
		・印刷物の削減	〃	○	○	必要なもの以外は印刷しないよう心がけていた。	〃
		・両面コピーの徹底	〃	○	○	可能な限り行った。	〃
	産業廃棄物のリサイクルの向上	・作業ミスによる廃棄物の削減	工務	○	○	ミスなく作業が行われた。	引き続き取り組む
		・リサイクルの推進	〃	○	○	再資源化が可能な処理ルートで廃棄ができた。	〃
再生資源の積極的利用の推進		・再生砕石を積極的に購入する。	代表者	○	○	積極的に購入できた。	引き続き取り組む
水使用量削減		・節水呼びかけの掲示・声かけ	総務	○	○	1人1人が節水意識を持って取り組めた。	引き続き取り組む
アドプト事業		・本社2キロ周辺の道路清掃	代表者	10/7	1/27 3/30	年に3回行った。	引き続き取り組む

・「ICT化による設計・工事の効率的運用」に対して、ICT対応の測量機器を購入して、工事に活用できるようになった。次年度は、社員の操作スキルの向上をすすめる。

・上半期・下半期ごとに確認し、定期的確認が×の場合は、是正策として、達成手段を追加する。

・環境管理責任者は必要に応じて指示を行う。

・代表者は環境管理責任者の報告を受け必要に応じて指示をする。

(取組評価) ○よくできた △まあまあできた ×できなかった

## 環境経営目標と実績

作成日 令和6年5月20日  
作成者 田村 和江

### 基準値と目標

項目		年度	2016年度実績 H28.4~H29.3	2021年度 R2.4~R3.3	2022年度 R4.4~R5.3	2023年度 R5.4~R6.3
		基準値		目標	目標	目標
電力による 二酸化炭素削減	削減率 (%)			5%減	6%減	6.5%減
	総量(kWh/年)		32,065	30,462	30,141	29,980
	総量(kg-CO2/年)		21,451	20,378	20,163	20,056
化石燃料による 二酸化炭素削減	削減率 (%)			5%減	6%減	6.5%減
	総量(L/年)		24,476	23,252	23,007	22,885
	総量(kg-CO2/年)		61,805	58,715	58,097	57,787
一般廃棄物 排出量削減	削減率 (%)			5%減	6%減	6.5%減
	総量(L/年)		309.0	293.6	290.5	288.0
産業廃棄物	リサイクル率		100%	100%	100%	100%
再生資源の積極 的利用の推進	再生砕石利用率		100%	100%	100%	100%
水使用量削減	削減率 (%)			5%減	6%減	6.5%減
	総量(m3/年)		626.0	594.7	588.0	585.0
アドプト事業	回数/年		3	3	3	3

※電力の排出係数 四国電力の平成27年度実績 調整後排出係数 0.669(kg-CO2/kWh)

※化学物質の使用はありません

### 目標と実績 2023年度(R5.4~R6.3)

項目		年度	2016年度実績 H28.4~H29.3	2023年度 R5.4 ~ R6.3		目標に達する割合 (%)	評価
		基準値	目標	実績値			
電力による 二酸化炭素削減	削減率 (%)			6.5%減			◎
	総量(kWh/年)		32,065	29,980	27,312	110%	
	総量(kg-CO2/年)		21,451	20,056	18,271	110%	
化石燃料による 二酸化炭素削減	削減率 (%)			6.5%減			◎
	総量(L/年)		24,476	22,885	20,805	110%	
	総量(kg-CO2/年)		61,805	57,787	52,513	110%	
一般廃棄物 排出量削減	削減率 (%)			6.5%減		96%	○
	総量(kg)		309.0	288.0	299.0		
産業廃棄物	リサイクル率		100%	100%	100.0%	100%	○
再生資源の積極 的利用の推進	再生砕石利用率		100%	100%		100%	◎
水使用量削減	削減率 (%)			6.5%減		102%	◎
	総量(m3/年)		626.0	585.0	576.0		
アドプト事業	回数		3	3	3	100.0%	◎

評価： ◎100%以上、○80%以上 △50%以上 ×50%未満

電力の排出係数 四国電力の平成27年度実績 調整後排出係数 0.669(kg-CO2/kWh)  
二酸化炭素排出量総量 70,784(kg-CO2)

## 次年度 環境経営目標

作成日  
作成者令和6年5月20日  
田村 和江

### 基準値と目標

項目		年度	2023年度実績 R5.4~R6.3	2024年度 R6.4~R7.3	2025年度 R7.4~R8.3	2026年度 R8.4~R9.3
			基準値	目標	目標	目標
電力による 二酸化炭素削減	削減率 (%)			0.5%減	1%減	1.5%減
	総量(kWh/年)		27,312	27,175	27,039	26,902
	総量 (kg-CO2/年)		12,399	12,337	12,275	12,213
化石燃料による 二酸化炭素削減	削減率 (%)			0.5%減	1%減	1.5%減
	総量(L/年)		20,805	20,701	20,597	20,493
	総量 (kg-CO2/年)		52,513	52,250	51,988	51,725
一般廃棄物 排出量削減	削減率 (%)			0.5%減	1%減	1.5%減
	総量 (L/年)		299.0	297.5	296.0	294.5
産業廃棄物	リサイクル率		100%	100%	100%	100%
再生資源の積極 的利用の推進	再生砕石利用率		100%	100%	100%	100%
水使用量削減	削減率 (%)			0.5%減	1%減	1.5%減
	総量 (m3/年)		576.0	573.1	570.2	567.4
アドプト事業	回数/年		3	3	3	3

※電力の排出係数 四国電力の令和5年度実績 調整後排出係数 0.454(kg-CO2/kWh)

※化学物質の使用はありません

### 2023年度 アドプト事業



## 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規等は次のとおりです。

法規制等名称	適用内容	遵守評価
廃棄物処理法	処理委託契約締結、マニフェストの管理	○
建設リサイクル法	発注者への計画等説明と再資源化等完了報告、記録の保存	○
騒音規制法	地域指定された場所における建設作業（解体作業を含む）届出書の提出、規制基準の遵守	-
振動規制法	地域指定された場所における建設作業（解体作業を含む）届出書の提出、規制基準の遵守	○
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業計画作成、作業基準の順守 事前調査結果の書面交付・報告・保管	-
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易点検と記録の保管	○
浄化槽法	定期検査の実施、保守点検及び清掃の実施	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に努める 気候変動による影響への対策に努める	○
阿南市環境基本条例	事業活動に伴う公害の防止、自然環境の保全措置	○

○：遵守  
-：該当なし

環境関連法規等の遵守評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。  
なお、関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去3年間ありませんでした。

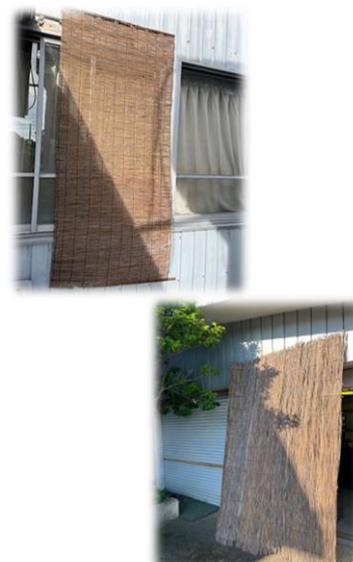
## 環境活動の状況



自転車通勤の推進



空調の設定温度



西日よけ

作成責任者(代表者)： 田村 浩二

作成者： 田村 和江

作成日： 2024年5月30日

実施日： 2024年5月30日

代表者による全体評価と見直し・指示

■定期見直し  
(2023年度終了後)

□臨時見直し

見直しに必要な情報			代表者による見直し		
環境管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項		
[取り組み状況の評価結果]			[環境経営方針]		
①環境関連法規制等の遵守状況（遵守評価記録による） 環境法令等は理解し、十分に遵守されている。			変更の必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 一般廃棄物排出量が目標を上回った。 原因は猛暑のため、現場で使用する飲料缶やペットボトルを持ち帰り処分である。やむを得ない部分もあるが、水筒の持参などそれぞれができるエコ活動を行う。			環境経営方針による行動指針を再度、社員全体で共有し、各自の環境負荷低減への意識を高め、さらなる向上をめざす。 購入したICT対応の測量機器を活かした工事の効率的運用を進めていく。また、人材育成も含めた更なるICT化を、進めていく。		
③教育訓練の実施状況 計画どおり実施できた。					
④前回までの代表者の指示事項への対応 指示どおり対応できた。			[目標・環境経営計画]		
<改善への提案> 特になし			変更の必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
[環境経営目標と実績の評価]			目標達成手段を意識した行動ができたこともあり、ほとんどの項目で目標数値を達成することができた。 中期的計画の内容も常に検討していき、将来的に達成できるよう努力していく。		
取り組み項目	評価	評価に対するコメント			
電力による二酸化炭素排出量削減	◎	工事の施工法の中で努力する			
化石燃料による二酸化炭素排出量削減	◎	//			
一般廃棄物排出量削減	○	目標数値を達成できるよう努力する			
産業廃棄物リサイクル率	◎	工事の施工法の中で努力する			
再生資源の積極的利用の推進	◎	//			
水使用量削減	◎	引き続き節水に取り組む			
アドプト事業	◎	今後も継続していく			
◎100%以上 ○80%以上 △50%以上 ×50%以下			[実施体制・その他]		
			変更の必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
			現在の実施体制を継続していく。		
[周囲の変化の状況]			[総括]		
①苦情等受付簿より 今回はなし			2023年度においては目標値をほとんど達成できた。 一般廃棄物の缶・ペットボトルの問題に関しては、気候変動問題、社員の体調管理等が関連し、難しい問題ではある。 自分達にできるエコ活動をコツコツと行うことで、目標に近づけるよう努力したい。 工事量の拡大と二酸化炭素の排出削減が反比例してしまう建設業界ではあるが、引き続き工事のICT化や、環境への影響を考慮した工事を行うことなどで、エコ活動の推進を図っていきたいと思う。		
②環境関連法規制等の動向（法改正等）他 全従業員に対し、周知できた。					